

筑前琵琶について

優雅・悲哀の音が好まれる

中通り 藤巻旭陽

現在の邦楽界は、琵琶に限らず洋楽におされて衰退の一途をたどっているのは、誠に残念なことである。琵琶のラジオ・テレビ放送なども一週に一度あればよいほうという状態で、このままでは近い将来全く滅亡してしまふのではな

いかと思われ。私も琵琶を始めて二十年、伝統ある日本の芸術を何とかして保存したいと思っている一人である。そこでこの紙上を借りて、筑前琵琶を紹介してみたいと思う。

現在の琵琶は筑前・薩摩の二派に大別される。これらはいずれも明治以後日本で大流行したもので邦楽全体からみれば比較的新しい音楽であるが、楽器そのものは西暦以前からインド・ペルシア等に存在し、今から千三百年ほど前に中国大陸を経て日本に伝えられたものである。そして奈良・平安時代を通じて雅楽の中にとり入れられ、貴族が好んでこれを弾いたものである。その後鎌倉時代にかけて、天台宗のお経に合わせて盲目の僧が弾いたのがきっかけで、これを基にして平氏の栄華・滅亡を物語る平家物語が語られるようになった。これが有名な平曲（平家琵琶）であり、平曲を語る盲僧のことを琵琶法師と呼んだのである。この平曲の世界は江戸時代末まで武士の保護を受けて栄えていた。一方、九州地方に伝えられた琵琶は、古くから九州の盲僧が筑前と薩摩に分れて、お経の伴奏に用いられてきた。その後、平安時代に伝教大師の命で比叡山延暦寺の根本中堂建設の際、地神経を唱えて毒蛇を退散させたという功績で橘源清という人が九州の盲僧の総元締となり、福岡の成就院を本拠に代々盲僧琵琶を伝えてきた。これは荒神琵琶と呼ばれ、琵琶を持って町や家を廻り、呼びとめられれば琵琶に合わせてお経を読むも

のであったが、盲僧を保護していた盲僧が明治四年に廃止されるとたちまち生計に困るようになった。そこでこれら盲僧は要求に応じてお経以外にも余興となった物語を語って聞かせるようになったのであるが、これを橘智定（初代旭翁）が筑前琵琶として大成したのである。

その後、明治・大正時代の相つぐ戦争と共に琵琶の持つ優雅で美しい音色が多くの日本人の心につれ、急速に発達した。「常陸丸」「湖水渡」「石童丸」などの名曲が出たのはこの頃である。さらに琵琶を改良して四絃から五絃の曲

が出たのはこの頃である。さらに琵琶を改良して四絃から五絃の曲も数多く作曲され、全国に多くの演奏家が輩出し、「旭」号を受け普及活動し、全国組織として日本旭会が設立され、多くの支部も続々と誕生したのである。

しかし第二次大戦後は、戦争を描いた作品の多かった琵琶は、国民感情に合わぬものとなり、一時は全く衰微したかに見えたが、三世旭翁が洋楽の技法をとり入れ、絃楽器としての琵琶の特徴をいかして「お蝶夫人」「一茶」「舞曲」などの新曲を次々と発表してかちやや活気をとりもどし、現在に至っている。

新役員引継ぎは

三月三十一日に

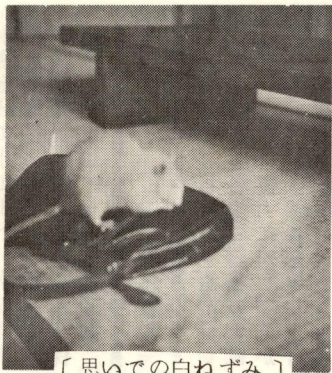
来年度役員については、自治会役員が中心となって協議しているが、近日中に決定の見込で、三十一日には引継ぎが行われる予定。

白ねずみの思い出

東 大胡悦子

今年の子の年なので、ねずみにちなんだお話をしたいと思います。私が未だ東京にいた頃です。白ねずみを家族の一員として満二ヶ年生活を共にして参りました。「気でも狂ったのでは」とお思いでしょうが、まあ、聞いて下さい。それは大雪の降る寒い晩でした。主人が帰宅しましたので迎えますと、どうでしょう、それは、ルビーのような目をしていて白鼠を抱えているのです。二十センチもある丸々肥えた置物のようなきれいなねずみでした。私達はビックリして、それこそ主人が「気でもおかしくなったのでは」と、唯々あつげに取られるばかりでした。何処かの屋敷の女中が、ほろきの背でパンパンたいていたのを見て、可哀想になったから」と申しました。初めは気味悪くさわる事も出来ませんでした。仕方なくくずかごに入れてやりましたが、余り狭いので今度は行李に入れてみ

て来た者は何より先に「チューン公」と聞く程愛着を覚えるようになりました。しかし或日主人の釣って来たハゼを喰べてから急に両眼がどんよりとした桃色に変って、あのルビーのような輝きは失せてしまったのです。人を出わかせるのにもついでに走って障子にぶつかってしまふようになってしまいました。「ああ、目が見えなくなつたのね」と私達は可哀想で可哀想でたまりませんが、犬猫と違って医院に行かなくても出来ませんでした。或日私は忠公の夢を見たのです。和服を着てふくら雀に帯をしめて私がお花を活けている側で可愛らしい娘姿でだまって坐っているではありませんか。しかも忠公の体温が私の身体にあたかく、つたわつて来るのです。ハットおどろいて目がさめ「忠公は」と思つて見ましたら、部屋の隅でハアハア大きな息をして苦しんでいました。その内ハアと身体をむきをかえたと思つたらもう死んでしまったのです。「ああ、今の夢はお別れの夢でお礼を云いに現れたのか」と私達は忠公の為に熱い涙を流しました。ああ、我が家のマスコットよ、あの可愛い目は閉じて再び見る事が出来なくなりました。家人の思い出も新たに、市ヶ谷の川に忠公を包んだハットロン紙は静かに静かながれて行きました。



【思い出の白ねずみ】

栄養指導車の御利用を

茅ヶ崎保健所では栄養問題に関する各種の相談に応ずるために、キッチンカーが巡回、実演指導を行なっている。みなさんも御利用されるようおすすすめします。

利用要項は左の通り。

一、講習内容

日常食・病人食・乳幼児・小中高生・妊産婦・老人の栄養について・その他

二、時間

〔午前〕十時半～十一時半
〔午後〕一時半～二時半

三、申込方法

希望者は保健所の申込用紙に希望の月、講習内容、代表者氏名とグループ名、場所などを記入して保健所に提出。

グループは二十名位までが適当で、各グループに対して、年間三回位までは巡回指導が可能とのことである。

保健所の電話番号は（八五）一一七一、住所は矢畑九一〇ノ一。

評議員会だより

評議員会議長 国末節

（二月八日）

一、会長挨拶

〇大房氏宅（原地区）前道路下水工事施工
〇山口氏宅より二平氏宅（南地区）に至る下水工事施工
〇大山街道（間門地区）下水改修工事 年度内施工（県）安全施設

（バックミラー）

〇南地区 一ヶ所
〇東地区 一ヶ所
〇高畑街路灯

〇駅の南北両踏切付近二ヶ所
〇間門線道路夏海氏宅付近
〇高さ八米の横断歩道安全灯（一四〇W）

〇白熱街路灯（二〇W）四〇W

〇次期
〇通学道路完備
〇川口屋一金子薬局道路整備
〇道路舗装 九路線
〇岡本氏宅（間門）より魚賢商店に至る道路敷地問題

三、議事
〇四十七年度役員選出の件
〇評議員選出 二月下旬

〇役員選出 三月下旬

〇事務処理

〇会計報告 三月十日
〇監査 三月二十三日
〇評議員会 三月二十四日
〇引継 三月三十一日
〇諏訪神社 運営 改修 奉賛
〇奉賛会則審議
〇改修について改修実行委員会を組織
〇改修趣意書作成
〇分組承認

四、事務報告

二月八日現在会員数
総数 一三九二 ↓ 一四六五
原 二五四 ↓ 二六六
南 二三一 ↓ 二四六
間門 二〇八 ↓ 二二二
中通 三一〇 ↓ 三三二
東 二六〇 ↓ 二七五
北條 二二九 ↓ 一三四

〇寄付

〇二月一日、中通り一六の一組、末舛恵一氏夫人瑤子氏は、病氣のため急逝されました。ここに御両名の御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

〇一月二十九日、香川一一九九番地菅宮マツ氏は薬石効なく他界されました。享年八十六才。

〇二月一日、中通り一六の一組、末舛恵一氏より自治会に志として一万円の御寄附がありましたので御報告申し上げます。

〇なお御母堂の竹内節子氏から次の文が寄せられました。

瑤子が長い間お世話になりましたが、此の度病気で亡くなりました。日頃娘は「香川ってよい所ね。皆様もよい方だし、ここに住んでほんとうによかった」と申しておりました。私共の存じあげない所でお世話になった方もたくさんいらつしやうと思ひます。今は江の島の海の見える美しい丘で、安らかに眠っております。香川の町の皆様は厚く御礼申し上げます。母 中通り 竹内節子

内容が豊富で紙面が明るくなった

「香川ニュース」反省と要望

香川ニュースも第21号となり、役員交替の時期となった。そこで二月十四日の午後、伊東宅に委員の方にお集りいただき、この一年をふりかえって反省と今後の希望をのべていただいた。

司会 一年間ほんとうに御苦労様でございました。今回が私ども委員の最後の編集になりますので、一年間をふりかえって反省やら希望やら、何でも結構です。前、お気軽に述べて下さい。城田 前年度の新聞は紙面が固すぎた。固いと読んでいてもつまらないし、読む気をなくしてしま...



木村 比べて、今の新聞は紙面が明るくなり、写真も豊富で内容もバラエティに富み、たいへん読みやすくなりました。今後とも是非この傾向を継続してほしい。

司会 (一同、同感の意を表明) 今(一)の御意見は、一般の方々からも伺っております。みんなの新聞なので、大勢の方に参加していただき、読者に密着した読みやすい新聞になるよう努力したつもりです。

村山 新人にどしどし登場していただき、いろいろな声をのせたいと思います。今年度は多数の人に投稿していただき、ほんとうによかったです。インタビューなども企画され、香川にはすばらしい方がお住まいになっていることもわかり、嬉しく思います。御立派な方が多勢お住みになっております。ほんとうに嬉しく思います。こういふ方々にも積極的に自治会行事



などに参加していただき、私たちを御指導下さるとありがたいです。たとえ文化講座・成人講座などを文化部で企画されてこれら名士の方を講師にお願いして、教養を深め研さんを積むようにしていくとか...自治会長さんに提案し、何度か御相談しましたが、遂に実現せず残念でした。是非とも実現させたいですね。おさわさ電車で茅ヶ崎まで行って講演をきかなくてすみません。主婦も往復の時間を要しないので、気軽に参加できますものね。

座談会

- *** (出席者) ***
- *** 村山 君子 ***
- *** 木村 すみ子 ***
- *** 城田 恵司 ***
- *** (司会) 伊東信子 ***
- *** **

城田 投書箱を駅など多勢人の集まる所へ設置するとよいと思えますが...

司会 その問題もしばしば考えたことですが、ずっと以前に香川駅に鉄道関係の方が設けられたことがありましたが、ほんのちよっとの間で終わってしまいました。その結果は知りませんが、長続きしないというところは、あまり効果がなかったことなるので、はなしてどうするか?投書箱は悪用されるおそれもあり、氏名を明記してあっても他人名でかいたり、個人攻撃などあり、功罪両方あるので、結局見合わせてしまいました。来年度の方が企画されるなら結構だと思います。木村 最近植木いじりをする人が多くなりました。そろそろ草花の種をまいたり植木の手入れをするのにより時期になりますので、植木についての講習会を開いてほしいです。それからは、ローンテニスクラブができてくるので、たいへん結構なことですが、私たちに使わせていただきたいと思えます。現在小学校のPTAの方たちとテニスをやっておりますが、練習場がないために、学校の運動場や市営コートに予約して練習しています。テニスの好きな者がたが、大金を出して遊ぶわけにもいきませんので、月に一日でよいから私たちに使わせてもらいたいと思えます。



司会 その点も経営者の方に申しあげたことがあります。香川にはプールがないために、子供たちは殿山まで歩いて行き不便な思いをしているので、すばらしい



城田 たいへんよいと思います。青少年問題とか、ゴミの問題とかとりあげたので効果があったようです。原ではゴミをすてる人が少なくなりました。清掃を続けていく御老人からもよろしくといわれませんか? 司会 まだずっと清掃を続けておられるのですか? 城田 はい、ずっと続けておられます。報道されて恐縮していらっしやいました。

司会 墓地の紹介をしたところ希望者があり売れたそうでお礼をいわれました。またつり堀に行ったり方もたくさんおられ、広告主からも感謝されました。香川の歴史のような継続物は早く住まが読みたかったし、自分の住

明るい笑顔で近所附合を

「遠い親戚より近くの他人」といわれるように親しい近所づきあいはいざという時困らない為にも必要です。しかし相手の私生活にまで立ち入ったり自分本位の考え方を押しつけたりは避けるべきです。いわゆる井戸端会議は精神衛生上からも必要なことだと思えますが、往々にして人のプライバシーにふれる話題に落ちついたり、隣近所の話に関心をもちすぎる結果、余計な事まで詮索したりという事になりがちなので気を付けましょう。よい意味の井戸端会議とは、例えば商品知識の交換や新し

いプールの建てられるのなら、是非社会奉仕のために香川の子供会に一日位解放して下さいと話したところ、「ローン制であり私営であるためそれはできない。しかし考えてもよいが現在は一存ではない」とのことです。お答えできない!とのことでした。りっぱな施設ができるかなえらればよいですね。 城田 「香川ニュース」を発行しての評価はどうでしょう? 司会 一年間を振り返って、企画・取材・編集など、いろいろ苦労がありました。委員の皆さんに密着した、みんなに喜ばれ親しまれる新聞として発展していくことを切望して、座談会を終りたいと思えます。お忙しいところをありがとうございました。

「石の上にも三年」という諺がある。これは確かに現代にも通用するのではないだろうか? 我々も香川にジョブリングセンターを開いたがまだまだの感が強い。毎日毎日の努力と誠意で熱情に商売も発展するのではないだろうか。私達青二才が口にするものではないのですが、やはり商売をやる以上はお客様の便利で買いたい品と場所を提供することが肝要だと思えます。現在は非常に競争が激しく、生きて行く為には弱肉強食に近い厳しい時代であると思えます。しかしこれに敗けては生活は成り立ちません。このような場合は単独の力ではなくたくさん集って一つの力を十倍にも二十倍にもして行えば必ずよい結果が生れると思えます。その点では私達の場合は非常に良い状態です。

木村 市の焼却炉など施設を見学する機会を作った方がよいと思えます。そうすれば清掃車の方の苦労もわかり、ゴミの捨て方なども改められると思えます。 司会 結構なことですね。

一致団結して 期待に添う努力を 光屋従業員一同

「石の上にも三年」という諺がある。これは確かに現代にも通用するのではないだろうか? 我々も香川にジョブリングセンターを開いたがまだまだの感が強い。毎日毎日の努力と誠意で熱情に商売も発展するのではないだろうか。私達青二才が口にするものではないのですが、やはり商売をやる以上はお客様の便利で買いたい品と場所を提供することが肝要だと思えます。現在は非常に競争が激しく、生きて行く為には弱肉強食に近い厳しい時代であると思えます。しかしこれに敗けては生活は成り立ちません。このような場合は単独の力ではなくたくさん集って一つの力を十倍にも二十倍にもして行えば必ずよい結果が生れると思えます。その点では私達の場合は非常に良い状態です。

現在とはとにかく先に向って進もうという考えは皆同じで、協力してやろうと燃えています。運動会のムカデ競走と同様に、一人でも倒れしめなければなりません。倒れは至らぬ者ばかりですが全店一致団結して、お客様の御期待にそうように考えておきます。 若い者はばかりです。で地元の皆様、御協力と励まして頑張りたいと思っています。

良い品を安く、しかも皆に喜んでもらえるように努力してやります。何分にも宜しくお願致します。紙面でもたいへん失礼とは思いますが、今後とも皆様の御指導御鞭撻をお願い致します。

住宅の安全性

南 曾弥秀次

ここ数年私たちは恵まれた自然の中で暮らしています。トタンや瓦の舞い上る台風にも襲われず、大雪や出水にも関係のない毎日でした。一方生活の方法もたいへん便利になり炊事洗濯にも手を冷たい水の中につける事のない日々が続いており、このことが逆に自然を甘く見、又住居内に危険を持ちこむ事が多くなつたといえます。たとえ燃料ですが、一度に大量の空気を必要とする液化ガスによって、室内の換気が要求される反面サッシ等によって隙間風の出入りがなくなり、極密化されてゆき、ガス中毒による事故や火災が数多く発生しています。

生命と財産の保護の最低の基準を守るための建築基準法は数回となく改正されております。住宅については、常時火気を使用する台所と浴室の天井壁は不燃物でなければいけなくなり、新鮮な外の空気をたえず流入できるように、空気の取入口や排気扇を義務づけました。また長家やアパートのように隣家の火事そのままだけで、一次的にその家だけでく留る事も要求されております。

この他、階級等も一方が使えなくなつても片方から逃げ出せるよう生命の安全を特に強調している事はいうまでもありません。一方、大自らの恐怖の主なもの、台風と地震だと思ひます。以前から鉄筋コンクリートや鉄骨の建物は、その構造上から強度計算を行なつて室戸台風の最大風速六三米、関東大震災程度の地震を一応の目安として、これに耐えうる建物という事が安全の基準としてきました。

しかし木造の住宅については、その計算方法が難かしい事も、割り工手法もいろいろあるため、割合甘く見過されてきたきらいがあります。木造住宅はその解放性の特質から、自分の好きな所へ窓や縁側がつけられるなど良い点を持つています。そのことが逆に壁が少いために、又柱のきじを見せるため筋違の少ない家が数多く見られます。これが地震のように横から力を受けた場合は大きな弱点となつてい

る。地震に強い建物の要件は屋根が軽い、火打・筋違いが十分かどうかといふ事です。そこで二階建の一階部分の壁には全部入れる位の用心が必要ではないでしょうか。今後建て増しなどの時には大工さんとよく相談の上、入る所はすべて押入等入目につかぬ所へは全部、工事は多少やりにくくなるきらいはありますがお願いしたいものです。

また火災の点にもどりますが地震には火災が必ずといってよいほど併発します。そして水道は断水と考へた場合、消防はあまりあてになりません。建物の隣との境界線から一階は三米、二階は五米

の範囲の外壁は、燃えない材料で作る事が要求されているのは、隣家からの延焼だけでなく、隣家へも火事を移さないという事なので

ある地震研究家は「三浦と房総半島の土地の部分隆起が始まり、地震エネルギーの蓄積も終つてあると引金を引くばかりの状態にある」と語っています。何物にも代え難い生命・財産の保護のためにも住宅の安全を守りたいものです。

息子と私

中嶋又工子

四十に近い年になると、こうも記憶力がなにか、それとももともと頭が悪いのかと、われながら感心することがある。

地理の方にまつた知識のな私に「お母さんは話にならないから大きな地図を買ってきてやる」といふ息子の意見を、私の家の居間に大きな日本地図がはられた。ニュースや何かで話題が出るたびに一つずつ確認して覚えるようにというのである。それを貼って息子はひととおり日本の三大湖や潮流の流れとかを説明して、覚えただけでいいから言ってみなさいと私に。私は右から左へ、そばから忘れてしまつてゐる。でも不思議と行つたことのある地名などは

五十年前に現地を訪れた時の思い出を記したノートを開き、往時を思いかえした。

数十頭のやぎを一本の棒を売って歩く人の姿をよく見受けた。今は地中海にある独立国で英連邦加盟国だが、地中海の航路中継点で古くから争奪の的となり、フェニキア・ギリシア・カルタゴ・ローマやアラビア人などの支配を受けナポレオンに占領されたりもした。島全体が要塞となつており重要軍事基地としての役割は大きく、NATOの地中海軍司令部が置かれてゐる。種々の面でも一歩も譲らない島民の結束ぶりはたゞただこわいというより怪しげな。

一定の時刻がくると、旧教徒である住民たちが祈る折りの鐘が島全体に一齐に鳴り響く状況は、とても筆舌につくす事ができない。

今更ぐちをいうのではないけれど、何もない時代に育ち、そして親になり子供には不自由させまいと頑張つてゐる。同じ世代なら説明のいらない時代である。でも社会は日一日と進歩してゐる。知識をいっばいつめこみ、人間性の乏しい人たちが育つてゐるのも事実だと思ふ。テストに追いまわされてゐる息子を見て、可哀想に思ふのは私ばかりでしようか。私は記憶力のない今、せめて世間だけは知つて行きたいと新聞をいつも読んでゐる。また婦人公論なども毎月読むと、とても教えられることがある。子供にとつて、母とはなんでもなくてならないかといふことも、もう一度考へなくてはならない問題だと思ふ。

茅花会

二月 投吟集

春を待つこの芽はたしかチューリップ
女児ほしと毛糸あむ手は春を待つ
値上りもためらわず買ひつゝ寒卵
寒玉子家計簿やばりひびくなり
パーゲンのシヨール売場を行きも
どり
悲しみをシヨールに隠す霜の道
銀狐思はず道をゆずりけり
雪見酒北国の客なまり高し
肌ざわりシヨールは母の匂いまで
伊豆弁のみかん売り来て日脚伸ぶ
ほどのよき釣場ときめて猫柳
蜂の来てままたごとの座を散らしけり

春近しよもぎの伸びのいよ濃く
春近し手洗鉢の水かえる
春近し富山から来た菓売り
春なりて春の吉辰またれけり
生みたての言葉も添えて寒玉子
春を待つ塔の案内届きけり
風邪見舞う伯母寒玉子捧けて来
芝草の中に花あり春近し
人混みをさがすや妻の銀狐

春を待つ椽に児の歯を教えをり
日曜の膳朝刊と寒卵
レミタの温み両手に寒卵
レミスのシヨールしてよそゆきの顔となる
袴巻に願まで埋めて友来る
襟巻の中に顔あり古い師
買ひ迷ふ鏡の前のシヨールかな
無事出産姑が届けし寒卵
チンドン屋流す街角春近し
シヨールウインドーのぞく娘等春隣
うれしさをシヨールに包み里帰り
シヨール深く眠る赤子のまるまる
ランドセル並ぶデパート春隣
雨音の今宵静かに春隣
ビニール床に朝日やわらか春隣
寒卵薄紅に朝の膳
春隣お針子たちの指早く
陽だまりの土の白さや春近し
桃の花匂ひの土のほほもえつ
春近し花展の人のほほもえつ
春近し新緑の芽此処かしこ
襟巻を投げこむ孫やほほ赤く

短歌

春樂し 鳥生喜志代

わが庭のあの木の枝渡り啼く鶯きけばこの春樂し
昨日まで枯木を見たる海棠が今朝枝々に赤き芽をふく
虫に食はれ網葉となりし葉ぼたんの芽を出す見れば清らにきほふ
春陽ゆたけき縁側に鉢植あまた並べ病後の吾は水そそぎをり
久々に餌まきやるに金魚らは人おぢするらし水にもぐりつ
師も吾も共に老いつつ幾山河へだて住居し若き日を恋ふ
おのおの希望高校バスの孫の友らそろひてわが家の坂道のぼり来つ
わが新居春陽あまねく照り込みて干蒲團の上にもどろみたり
この団地にあきらめたる鶯が今朝は啼きたり
何鳥ならむ高空を暴風に逆ひ羽撃きはばたき進みかね飛ぶ
一年をいづこに住みしか郭公を今朝早々と聞くは嬉しき
人生とは淋しさに堪へ生かぬ事か夫古稀をすぐる定年に思ふ
デパートの鏡に写る吾が姿急ぎすぎつ老醜哀しむ

マルタ島雑感

南 亀井湘南

地中海のマルタ島の現状が、海外ニュースの報道で、テレビに映し出されて、よそごとながら強い印象を受けた。